

information

満開の桜の下、美味と芸能を満喫 成川溪谷桜まつり開催

春らしい穏やかな雰囲気の中、成川溪谷を囲むように咲いた満開の桜と一緒に、ゆったりとした時間を過ごしてみませんか。

当日は、鬼北町特産のきじを使った「きじ鍋」のほか、「桜もち」や「桜ケーキ」など、この季節ならではの鬼北町の「美味しいもの」が大集結。

また、特設ステージでは今年も、町内の芸能クラブによる民謡や三味線の演奏などが披露されます。ぜひ皆さん足を運んでみてください。

日時：4月14日(日) 11:00～

場所：成川溪谷休養センター

問 役場 産業課 商工観光係 内線2212



information

鬼北の味と歌と演奏の共演 日吉夢産地グリーンフェスティバル開催



今年も「道の駅・日吉夢産地」に設置された特設ステージでは、日吉小学校児童による武左衛門太鼓の勇ましい演奏や、町内のコーラスグループによる美しい歌声などが響き渡り、会場を大いに盛り上げます。

また、地元の有志らによる地元産の食材を使った料理などの販売も行われます。

毎年、町内外から訪れた多くの客で賑わうこのイベント。ぜひ一度足を運んでみてください。

日時：4月29日(月・祝日) 10:00～

場所：道の駅・日吉夢産地

問 道の駅・日吉夢産地 ☎44-2340

Topics

「同じ人間として」人を思いやる気持ちと向き合う少しの勇氣

「鬼北町人権を考える集い」は2月17日、広見体育センターで行われました。

まず町内のコーラスグループである「コールグリーン」と「ば・ら・り童謡の会」が東日本大震災復興応援ソングである「ほらね」や「ドレミの歌」を披露。そして、最後は会場に集まった人たち全員と一緒に「ふるさと」を合唱し、会場全体にのびやかな歌声が響き渡りました。

その後、鬼北町人権教育協議会会長の甲岡秀文町長が「これからも町民の方々と一緒に人権について真剣に考え、真剣に取り組んでいきたい」と挨拶。町内の小中学生による人権作文の発表では、「友達に支えられた経験、友達からもらった勇氣、それを思えばいじめはできないはず」「自分の中にある小さな正義を奮い立たせてほしい。小さな力一つひとつが繋がれば大きな力になる」と会場を訪れた人たちに熱いメッセージを送りました。

また、水谷修氏による講演では、「生き方は子どもたちに教えるのではなく、『見せる』ことが大切」「人はほめられ、認められることで明日を生きる力『自己肯定感』を感じることができる」と、子どもたちの人権を守るため、まず大人が自分たちの行動・発言を見直してほしいと訴えました。自身の経験を織り交ぜながらの現実味のある、胸に迫るような言葉の数々に、参加した人たちは何度もうなずきながら、真剣な表情で耳を傾けていました。

真剣な表情で熱く訴えかける水谷氏(右)参加者全員と一緒に「ふるさと」を合唱する「コールグリーン」「ば・ら・り童謡の会」(下)

